

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年8月2日(水) 17時15分～17時25分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 他8名

三菱重工業株式会社 2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所3号炉 基準津波に関する検討状況（令和5年3月24日 第1128回審査会合指摘事項）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁谷です。面談を開始します。今日の面談の案件としては泊発電所3号炉。
0:00:09	基準津波に関する検討状況ということで、
0:00:16	先ほど資料をいただきましたこの内容をちょっと北海道電力の方からまず説明ください。
0:00:26	北海道電力松村です。
0:00:28	津波の面談よろしくお願ひします。説明は、アオキからで、
0:00:32	簡単にまず資料説明させていただきます。
0:00:38	北海道電力の青木です。私の方から資料説明させていただきます。
0:00:42	まず、ページめくっていただいて2ページ目、こちら本資料の説明範囲を書いたものになって
0:00:49	前回の審査会合、3月24日の審査会合ですがこちらの指摘事項を下の表に書いて、
0:00:56	大きく指摘事項33番と34番の二つある。
0:01:02	そのうち33番につきましては、内容が細かいというところで33-1から、
0:01:07	33-3まで分岐して、大きく四つの論点があると考えており、
0:01:13	このうち、指摘事項No. 33-3の追加コガの評価の妥当性に関するところについて検討状況
0:01:21	ていた
0:01:22	等その他の内容については、今後のヒアリングの際に御所
0:01:28	等また3ページ。
0:01:30	目次書いておりました、
0:01:32	今後のヒアリングでは一章から5章の内容について各指摘事項についてのコメント回答という形式で説明することを考えており、
0:01:40	その中の、今回は4ポチの
0:01:43	1項ナンバー30
0:01:45	ところについて状況を説明。
0:01:48	続いて4ページをお願いいたし
0:01:51	のこちらが回答の概要になっております。
0:01:54	その概要については一つ目のポチというところで、末岡古川の評価が耐津波が、
0:02:00	設計において安全側の評価となるように基準津波の評価として保守性を考慮した時間による波源選定を追加いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:07	また、組み合わせ評価においては、保守性を考慮した時間に選定された波源に加えて、
0:02:13	水変動量が大きいと、水位が低下するという、
0:02:16	生活水が低下する時間も長くなるという一般的傾向から、地震津波の上昇側加古川問わずに、
0:02:22	最大水位となる波源を用いて、川白戸の津波の組み合わせ評価を次
0:02:27	へ。
0:02:28	市に影響の大きい波源を選定いたしました。
0:02:31	その結果、二つ目の矢羽根の理由により、
0:02:35	市への影響の大きい波源が選定
0:02:37	と考えており、
0:02:38	一つ目は、水位変動量、上昇側下降側、
0:02:41	両方に対して大きい波源を含めて幅広く波源を選定した
0:02:45	イマセイソタニですけど、
0:02:48	今日の面談って何を伝えにきたんですかでは我々この、
0:02:53	コメント回答をこうしますっていう。
0:02:57	の聞きたいわけでもなくて、
0:03:02	検討状況っていうことで、面談申し込んでもらって今の検討状況としてな、何を、
0:03:08	海田とかいうのがあったらそこを簡潔にして欲しいんですけどその説明の中でこの回答概要、
0:03:16	回答概要ってこれコメント回答の高校概要でしょ。
0:03:22	検討結果としてもヒアリングで聞くような内容のことを今説明されてるのかなって思ったんですけども。
0:03:28	検討状況を簡潔に説明してもらったらと思います。
0:03:37	北海道電力の青木です
0:03:39	それでは4ページについては回答の概要というところで、詳細は記載の通りとなっております、
0:03:45	前回のヒアリングからの変更点というところに絞って説明。
0:03:49	いただきます
0:03:50	と5ページ目検討フローになっており、
0:03:53	左側のフローっていうところが、評価方法、
0:03:57	つまりの評価方針
0:03:58	基準津波の評価方針

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:00	保守性を考慮した時間の定義、加古川最大ケースの選定という流れで整理して
0:04:06	こちらコメント回答として載せ
0:04:10	6 ページにつきましては、最上段で評価方針というところ書いておまして、ガイドに基づいて、対津波に対して、耐津波設計に対して厳しくなる条件で設計、
0:04:22	検討していくというところを書いて
0:04:24	また 6 ページの左下、二つのところで、
0:04:28	このとき、
0:04:28	この資料の 6 ページの段階において貯留堰下回る継続時間パルスを考慮しない時間、3 号炉取水口下降量
0:04:36	についての基準津波にしないというところをここで明記して、
0:04:41	7 ページ目、こちら保守性を考慮した時間の定義になって
0:04:45	説明の内容については、大きい内容については前回のヒアリングから大きい変更は、
0:04:52	8 ページ目、こちら水加古川の最大ケースを選定するにあたっての選定フローを明記したものになっております
0:05:00	一つ目のポチですが、
0:05:03	水位変動が大きいと水位が低下する時間も長くなるという一般的傾向を踏まえて、
0:05:07	静変動量が大きい波源に対して保守性を高齢者時間に対しての影響の大きい波源というふうに加え
0:05:14	てまだ、この考え方に基づいて保守性考慮した時間の最大ケースを選ぶにあたって、
0:05:20	3 ポチの地震津波の検討の評価項目としては、左側に書いております。
0:05:25	3 ポチのフローの中の評価項目というところに変更前後を書いておりますが、
0:05:32	前回のものですと貯留堰下回る継続時間パルスを考慮しない時間
0:05:36	というものでしたがこちらの保守性を考慮した時間に変更して、
0:05:40	またそ 0+3 号炉取水口の下降量については参考値という扱いで残っ
0:05:47	てまた右側、移っていただいて組み合わせ評価というところで、
0:05:51	まとまりの組み合わせが大きく三つあると考えておまして、5.2 章、こちらまとめ資料としての目次になりますが、
0:05:59	地震津波の最大ケースを対象に組み合わせ
0:06:03	て 5.3 章が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:06	地震津波の検討結果、検討結果からピーク水位が大きい波源を対象にしていソウノ変動を考慮した組み合わせ
0:06:13	化をしたもの
0:06:14	で最後、5.4 章でピークが重なる波源の
0:06:18	影に対して、
0:06:20	対変動の影響を考慮した組み合わせ評価をしたもの
0:06:23	この大きく三つの検討に対して 5.5 章の組み合わせ評価を決めて
0:06:28	フローにしても、
0:06:29	この赤枠の箇所については、水位上昇側、
0:06:33	に対して厳しくなるという波源表、見つける目的で検討したケースであります、こちらについても、一般的な傾向を踏まえて、保守性を考慮した時間の最大ケースに選定
0:06:44	ふうにして
0:06:46	口頭で一般的な傾向等を説明したところには 9 ページ
0:06:50	をしております、
0:06:53	こちら左側に水位変動量が小さいは
0:06:56	右側に水位変動量が大きい波源を書いており
0:07:00	この水辺道路の上下の振れ幅が大きいほうが保守性を考慮した時間も長く、
0:07:05	いう観点がありますのでこういった一般的な傾向から、水位変動量が大きい波源を対象に検討して、
0:07:12	ところを記載し
0:07:13	ない
0:07:16	続きまして 10 ページが、
0:07:19	最終的な 5.5 章の組み合わせ評価の最大ケースに行くにあたっての選定のプロセスを書いたものになって
0:07:27	と 5.2 章 5.3 章 5.4 章のそれぞれの
0:07:31	解析結果の最大ケースをこちらの、
0:07:34	結果に載せておまして、保守性を考慮した時間に対して、
0:07:38	健全地形モデルとして一番大きいものは 5.3 章。
0:07:42	黄色ハッチングしてるところから引っ張って
0:07:44	ここに書いております。
0:07:47	こちらをまとめたものが 11 ページ
0:07:49	になりまして、
0:07:51	5.2 章から 5.4 章のそれぞれの組み合わせ評価の最大ケースを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:56	選んだものっていうものを、
0:07:58	最終的な最大波源というふうを設定して、
0:08:02	一番下に結論をまとめ書いておりますがこちらはササキの概要。
0:08:10	今、加古川の検討状況については、今説明した通りとなり、
0:08:14	以上で
0:08:19	井谷です。根井、何か説明聞いてても、検討、何かヒアリングの
0:08:26	雰囲気、検討結果がこうこうなりますとかいう、そういう説明に聞こえ
0:08:38	ちゃったんですけど今日伝えたいこととしては、前回ヒアリングで、
0:08:44	言ってたような説明から若干こう方針を変えていると。
0:09:01	その辺公開変更したような方針っていうのをまず今日伝えにきたとい
0:09:10	う、そういう面談っていうことで理解していいんですかね。
0:09:22	北海道電力奥寺です。まず、まずもって一つ目はその通りです。それと
0:09:27	もう一つ、前回のヒアリングで、
0:09:29	何を、何に対して保守性を考慮する時間、何をもって、何の理由でつ
0:09:38	いてその算定している、どこからの算定数値なのかっていうところが、
0:09:46	少し説明として明確ではなかったなと思いますのでその辺りの整理とし
0:09:49	て、
0:10:00	8 ページ 9 ページですけれども、
0:10:04	水位変動量が大きいものっていうのは、時間も大きくなる傾向があるだ
0:10:10	ろうというところに着目して、
0:10:15	層厚が大きくなる波源に対して数字を参照していったっていうところを明
0:10:20	確に示した結果が最後の結果だと。
0:10:27	以上の 2 点を
0:10:34	2 点の方針を明確にして検討している状況だということを伝えたいと考
0:10:41	えております以上です。
0:10:48	はい、谷です。
0:10:55	はい、今後だからこういうのを説明していきますということで抱えてお
0:11:02	か。
0:11:09	変えて、設個今までの説明と変わるっていうことは、
0:11:16	内容っていうのは 8 ページのあれですか、今まで、
0:11:23	加工量を、貯留堰を下回る時間パルスを考慮し、しない時間っていうの
0:11:30	を、
0:11:37	考慮してたんだけどこのうちの貯留堰を下回る継続時間とかパルスを
0:11:44	考慮しない時間というのは、
0:11:51	もう、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:35	評価からは、評価項目から外すっていうようなことを、
0:10:40	そそいった、検討の方針にして今後やっていきますよというのを説明しにきた。
0:10:47	で、
0:10:48	さらに9ページのようなことも、まあまあそれを考えている。
0:10:52	背景というか、
0:10:55	そういうものをこの9ページとかで説明されるってということされてるってことですかね。
0:11:01	カオクデラです。おっしゃる通りで、少し私の説明抜けてましたけど、6ページで、
0:11:07	貯留堰とかパルスを考慮しない時間の扱いというのを
0:11:12	基準津波の選定対象としないというところは明確に書いたと、その辺の方針が変わってる。
0:11:18	というところと8ページ9ページは、
0:11:21	前回のヒアリング資料ですと、
0:11:23	72のところの段階で何が拾い上げられて、どこでその
0:11:29	性を考慮する時間
0:11:31	を算定してるのかってのが非常にわかりづらいというところがありましたので、
0:11:36	ちょっと先取りみたいな形になります5の2章でやったこと後の3章であったところ、この4章でやったことは、水位変動量に関わるので、全体を見た上で、保守性を考慮する時間を、
0:11:48	考慮していく方針に明確化した。
0:11:51	というところが、お伝えしたかったところですよ今そういう検討をやっていると
0:11:57	規制庁谷です。
0:12:03	それでは本日の面談を終わりにしたいと思いますどうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。